



【教育目標】 **総合目標** 知性を磨き、心を見つめ、チャレンジする生徒

イラハッピー

- ◎自主性、創造性のある生徒(知育)
- ◎情操豊かな生徒 (徳育)
- ◎健康でたくましい生徒 (体育)

【授業参観②】 ～雨天の中200名を超える保護者の皆様が来校！～

6月13日(火)に今年度第2回目の授業参観を実施しました。今回は、給食・清掃時間を除く1校時～6校時の都合のよい時間帯に授業を参観していただきました。当日は雨交じりの天気にも関わらず、200名を超える保護者の皆様のご来校がありました。ありがとうございました。2年生は、平和学習で市内にある旧海軍司令部壕の見学を予定していましたが、天気予報が雨だったため、新聞の沖縄戦特集号を活用した授業などに切り替えました



【英語スキットコンテスト】 ～流暢な英語と演技力で自然保護を訴える！～

6月13日(火)に与那原町「上の森かなちホール」において、第4回島尻地区中学校英語スキットコンテストが開催されました。スキットとは寸劇のことでテレビの語学番組などで見る短時間の場面劇をイメージすると分かりやすいと思います。本校からは藤原理瑚さん、祖田風花さん、岩坪仁菜さん、大城茉里奈さん、長嶺良皇さんの5名が出場しました。内容は「開発が進みヤンバルの自然もなくなってしまった30年後の沖縄にタイムスリップした少女が、親友のキジムナーと再会し、自然の大切さを改めて実感し、現在に戻りスピーチコンテストで多くの人々にヤンバルや世界の森の保護を訴える」というものでした。流暢な英語と自信にあふれた演技で観衆を魅了し見事県大会代表(上位2校)に選ばれました。練習の成果を最高の形で発揮できたとのこと。おめでとう!



【一人一研究授業②】 ～上里(島袋)花菜教諭が2年9組で国語の授業～

6月14日(水)の3校時に、2年9組において上里花菜先生の国語の公開授業がありました。今回は「多様な方法で情報を集めよう」というテーマで、インターネットや本、インタビューなど多様な方法で集めた情報を新聞にまとめる活動を通して、情報の収集や活用方法などについて学ぶ授業でした。生徒たちが作成した新聞は、読み手が興味を持つような見出しやレイアウト、イラスト挿入などの工夫があり完成度が高かったです。友達との作品の読み合いを通して、自分では考えつかなかった工夫に気づく生徒の姿が印象的でした。



【3年 進路学習会】～5名の先輩から学科の特色や高校生活を学ぶ～

6月15日(木)の5・6校時に、3学年の「先輩に学ぶ進路学習会」が開催されました。本校卒業生の5名の高校3年生をお招きして、①各高校の学科の特色や授業の様子、②部活動や学校行事、③資格取得や高校卒業後の進路、④受験勉強や日頃の学校生活で心がけてほしい

No.	氏名(学年)	高校名	学科名
①	阪 孝太朗(3年)	那覇高校	普通科
②	野嵩 花夢(3年)	糸満高校	普通科
③	安谷屋 大(3年)	沖縄工業高校	電子機械科
④	吉川 維智(3年)	那覇商業高校	商業通科
⑤	赤嶺 慶丞(3年)	南部農林高校	生活デザイン科

ことなどについて一人10分程度で話してもらいました。先輩方には図書館からオンラインで発表してもらい、3年生は各教室の電子黒板で視聴しました。また、発表後は、先輩方に3年生の教室を回ってもらい質問等に直接答えてもらいました。

生徒たちは、ホームページやパンフレットなどでは分からない生の高校生の話を聞くことができ、より具体的に高校生活をイメージすることができたようです。また、普通高校2校と工業・商業・農林の3専門高校の話を聴くことで、高校について多面的に理解を深めることができたようです。今回の学習をこれから本番をむかえる進路選択・進路決定に活かすと共に、自分の「夢の実現」に向けて計画的・戦略的に取り組んでほしいと思います。



【1年 平和学習】～大きいガマ・小さいガマ、どちらに避難するか!?～

6月15日(木)の5・6校時に、社会起業家の玉城直美さんを講師にお招きし、1学年の平和学習会を開催しました。生徒たちは、沖縄戦当時の読谷村で2つのガマ(シムクガマとチビチリガマ)に避難した住民の運命を分けた選択を迫体験するワークショップ(シミュレーション)に参加しながら、命の尊さや平和の大切さについて学びました。



ワークショップでは、①まずはじめに、ガマに避難する時に持って行く物を「なべ・やかん・米・竹やり・カマ・三線・位牌」など25個の中から5つ選びました。②そして、「大勢が入れる大きなガマ」か「プライバシーが守られる小さなガマ」のどちらに避難するかを決めました。③さらに、「小さいガマ」に避難する人は、一緒に逃げる人を「日本兵・中国帰りの看護婦さん・親戚のおじさん・知り合いのおばさん・知り合いのお姉さん・自分のお母さん」の中から選びました。結果的には、大きいガマ(シムクガマ)に避難した人は全員助かり、小さいガマ(チビチリガマ)に避難した人の多くは命を落としました。最初は生きるために必要だった物を、命を奪うことに使うことになってしまった悲劇についても深く考えさせられました。

また、今回は、當間匠先生、赤嶺祥子先生、仲里道信先生の3名の先生方が、2つのガマに避難し、生き延びた人の証言を朗読し、当時の人々の体験や思いに耳を傾けました。

最後に、県出身歌手の玉城千春さん(キロロ)が中学生と共に作った「Hope Dream Future」という曲のミュージックビデオを見て、希望を持ち未来を創っていくことについて考えました。過去に学び、平和で幸せな未来を築いていきましょう。

